

資産運用レポート：ジャパン・オーナー・オペレーター

1 はじめに

最近、目に留まったファンドがあります。ホライゾン・キネティックス (Horizon Kinetics) の運用するジャパン・オーナー・オペレーターE T F (Japan Owner Operator ETF) です。

主に日本国内で収益を得ているオーナー経営の企業に投資することで、国際優良株のウェイトが高い代表的な株価指数では得られない、長期的な資本成長を目指しているE T Fです。

同社では下記の観点から、国内でビジネスを展開するオーナー企業が競争優位を築きやすいと考えています。

- 日本の終身雇用文化はイノベーションを阻害している。リスクを嫌う大手企業の管理幹部は二ツ分野での新たな機会をしばしば見過ごしてしまう。
- ゆえに起業家はオーナー経営者として、日本で未知のビジネスチャンスを自由に模索し、それを捉える機会を得ている。
- 言語の壁と閉鎖的な企業構造が情報へのアクセスを制限しているため、海外からの脅威も限定的となっている。日本の成熟したマクロ経済、人口減少と高齢化社会は、世界の競争相手による参入を阻んでいる。
- 革新的なアイデアや事業成長計画を機動的に実行し収益化するという点では、日本の起業家は国内の停滞した同業や海外の遠く離れた投資家に対して、競争上の優位性を持っている。

組入銘柄も相当にユニークです（下表）。今年5月に運用を開始したばかりのE T Fであり、パフォーマンスは未知数ながら、期待を持てる銘柄が多分に含まれています。今回の資産運用レポートでは、この中から4銘柄を取り上げました。

★ジャパン・オーナー・オペレーターE T F 組入銘柄（1～10位）

コード	銘柄名	業種	株価	時価総額 (億円)	PER	PBR	配当利回り(%)	組入比率(%)
1	6814 古野電気	電気機器	8,100	2,583	16.5	3.21	1.85%	11.36%
2	4681 リゾートトラスト	サービス業	2,021	4,386	21.4	2.94	1.68%	4.86%
3	6544 Jエレベータ	サービス業	1,745	3,108	47.1	15.16	1.09%	4.55%
4	9435 光通信	情報・通信業	42,440	18,788	16.2	1.76	1.73%	4.25%
5	4194 ビジョナル	情報・通信業	10,585	4,248	26.4	5.84		4.24%
6	3798 ULSグループ	情報・通信業	564	360	16.4	2.99	1.26%	3.96%
7	6080 M&Aキャピタルパ	サービス業	3,290	1,045	14.4	2.41	2.08%	3.87%
8	7532 パンパシHD	小売業	965	30,658	27.3	4.69	0.88%	3.87%
9	6036 KeePer技研	サービス業	3,560	1,007	13.5	4.68	1.69%	3.57%
10	9467 アルファポリス	情報・通信業	1,611	468	20.1	3.27	1.49%	3.55%

株価、P E R、組入比率などは12月12日現在